

令和 7 年 10 月 28 日

## あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長 足立 信也 殿

所在地 大分市大道町 2-6-10-201  
団体名 「100年の樹」  
ブルーライトアップ実行委員会  
代表者氏名 岩川 幸造  
電話 090-4350-1711  
担当者名 [REDACTED]  
担当者連絡先 [REDACTED]

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第 13 条の規定により、下記のとおり報告します。

### 記

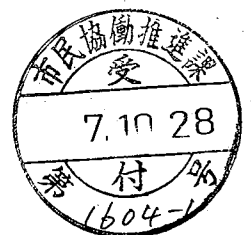
- |                |                               |
|----------------|-------------------------------|
| 1. 交付決定年月日     | 令和 7 年 9 月 9 日                |
| 交付決定番号         | 協働第 1604 号                    |
| 2. 事業名         | Light It Up Blue@「100年の樹」2025 |
| 3. 補助金の交付決定通知額 | ¥296,517 円                    |
| 4. 補助金の概算交付額   | 0 円                           |
| 5. 補助金の精算額     | ¥296,517 円                    |
| 6. 事業の成果       |                               |

啓発デーや啓発週間が存在している認識を多くの市民に気づいて貰える機会になった。

市民の方から発達障害をお持ちの方への共感を頂き、他者を理解する意識に貢献出来た。

発達障がい有する方の家族に援助団体を紹介し、活動に対しお礼を頂けた。

7. 添付書類 (1)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書  
(2)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書  
(3)その他市長が必要と認める書類



(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団 体 名	「100年の樹」ブルーライトアップ実行委員会			
事 業 名	Light It Up Blue@「100年の樹」2025			
主な活動地域 ※該当する□に チェックしてく ださい。	<input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> 大分中央 <input type="checkbox"/> 大分東部 <input type="checkbox"/> 大分西部 <input type="checkbox"/> 大分南部 <input type="checkbox"/> 南大分 <input type="checkbox"/> 鶴崎 <input type="checkbox"/> 大南 <input type="checkbox"/> 植田 <input type="checkbox"/> 大在 <input type="checkbox"/> 坂ノ市 <input type="checkbox"/> 佐賀関 <input type="checkbox"/> 野津原 <input type="checkbox"/> 明野			
実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過 等)  ※別紙添付可	時期 (月)	実施場所	受 益 対象者数	実 施 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	4 月 2 日 ～ 4 月 8 日	大分市い こいの 道広場 及び J:COM ホルト ホール	入場者延 2 4 7 5 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界 172 カ国、日本でも全国 517 箇所以上で行われている『世界自閉症啓発デー (4月2日)』や『発達障害啓発週間 (4月2日～8日)』にランドマークや名所旧跡をブルーにライトアップする取り組み『ライト・イット・アップ・ブルー』を、大分市の中心部にある大分いこいの道広場の「100年の樹」で行い、ホール等周辺地域で自閉症や発達障害に関わる様々な催し物を行った。</li> <li>・世界自閉症啓発デー (4月2日)・発達障害啓発週間 (4月2日～8日) に大分駅上野の森口に有る、大分いこいの道広場「100年の樹」の周辺に啓発の為の看板を設置し、夜間ブルーにライトアップした。</li> <li>・啓発活動の一環として、自閉症児・者の就労や日常の写真展示並びに自閉症児・者の作家の関連商品の販売を J:COM ホルトホールのロビー・エントランスホールにて行った。</li> <li>・自閉症をはじめとする発達障がい講演会を実施し、また、オンラインで講演の配信を行い、表に見えない障がいの発達障がいの存在を市民に知らせる事が出来た。</li> <li>・自閉症をはじめとする発達障がいの子育てをしている保護者を中心にした交流会を実施して、どういう困り事があるのか、体験した疎外感や温かみのある励ましで救われた思いなどを支援者や大分の市民と共有するイベントを行った。</li> </ul>

<p>使用した 広報手段と その効果</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> ホームページ    <input checked="" type="checkbox"/> チラシ、広報誌    <input checked="" type="checkbox"/> facebook 等の SNS <input checked="" type="checkbox"/> その他（具体的に） メディアへの取材対応</p> <hr/> <p>広報の効果 今年度行った広報の効果 全てに効果があった。多くの方に伝える事が出来た。 また、問題を抱えた保護者が昨年に増して来場し現状を伝えてくれた</p>
<p>活動目標の報告</p>	<p>協賛頂いている企業の方々に配布の協力を呼びかける。→各施設を利用している当事者の方や対象児童の保護者に働き掛けて頂く事ができた。 協賛企業の増加を目指す。→増えた方もいたが入れ替わりがあり、数としては増加は見込めなかった。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>地域への効果について（対象地域にどのような効果があらわれたのかを記入） 現状、以前に比べて自閉症啓発活動「Light It Up Blue@「100年の樹」」の認知度は上がってきた。先ず持って、当団体が取り組んでいる自閉症啓発の始まりは、2007年12月18日カタール王妃が国連『世界保健機関(WHO)』に於いて「世界自閉症啓発デー」を提唱し採択により4月2日が国際デー「世界自閉症啓発デー」となり、見えない障がいでありその特性に於いて多様複雑化する自閉症は、啓発に困難を極め、時を経て、2010年よりアメリカにある世界最大の自閉症応援団体であり研究機関のオーティズムスピークスが Light It Up Blue と称してブルーライトアップキャンペーンを始めた事に起因する。日本に於いても厚生労働省主導で、2011年より日本各地で実施される事になったが、2011年3月11日に東北大地震が発生し、日本中に節電の呼びかけが行われ、初年度はわずかに3箇所の開催で、大分県では2012年から別府タワーが国と協力団体の呼びかけで4月2日にブルーにライトアップされていたが2022年をもって世界自閉症啓発デーとしてのブルーライトアップを終了している。大分市に於いては2017年より大分市政100周年記念モニュメント「100の樹」をブルーライトアップしている。現在啓発イベントを運営している「100年の樹」ブルーライトアップ実行委員会の認知度も上がり、地域の方と大分いこい道広場の環境整備や大道校区公民館での発達凸凹子育て支援ネットはびふるの活動も相まって自閉症の事の理解が広がった。また、大分いこい道広場の環境整備に協力する高校生の協力も得て、Light It Up Blue@「100年の樹」プレイベントを大分駅南口とJ:COMホルトホール大分で行い、高校生の人権学習にも寄与している。</p> <hr/> <p>市民への効果について（市民福祉の向上にどうつながったのかを記入） 自閉症をはじめとする発達障がいの啓発に、多くの参加者や運営のボランティアを賜り、年々拡大して行くことが出来ている。多くの市民に関心を持って頂き、活動として広がりを見せている。また発達障がいを持つ方々のアート作品から波及した販売品が、発達障がいの援助に有効な手立てだと示す事が出来、尚且つご来場いただいた市民の皆様にも、ご理解いただく事ができた 事業実施が「世界自閉症啓発デー」に連動して行う事で、日本をはじめ世界中の国々との情報の共有も出来て、啓発活動を行っている事を市民の皆様にお伝えする事での相乗効果はあるが、「4月2日」を行事の開催日に定めている事から、日本では年度初めの4月に一般の市民の方へのボランティア協力が多く望めない。その為、ボランティアを学生などの若い世代や、子育て中の母に呼びかけ、自閉症をはじめとする発達障がいに対しての学習から理解を深め、市民に向けて、共感をしていただけるように尽力した。また今回はシニア世代にも協力して頂ける事にも繋がり、活動に参加したボランティアの皆様の活躍で、多くの市民に情報を提供出来た事や、講演会の開催で療育者の歴史や取り組みを多くの方にお伝え出来た事、昨年からの開催している交流会で、自閉症をはじめとする発達障がいのある児童の子育てに悩む保護者の現状の共有と共感による繋がりが広がりを見せている。</p>
<p>来年度に向けた課題</p>	<p>活動を続けていく上で、資金調達が不安。安定した財源を保有していない。それゆえに、毎年1%応援事業の市民の皆様のお力添え、啓発イベントの開催を望む声ならびに投票が、会の方向性に大きな影響を持つことが、課題でもあり、指針でもある。</p>

# あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業名： Light It Up Blue@「100年の樹」2025

1 【収入】 (単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
補助金収入	296,517	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入		
事業収入	6,000	Light It Up Blue@「100年の樹」2025 Tシャツ販売
寄附金収入	23,500	Light It Up Blue@「100年の樹」2025 活動寄附
その他	630,068	団体会計より
合計	956,085	

2 【支出】 (単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
報償費	52,000	会場案内 受付業務 報償費
旅費		
消耗品費	13,215	インク代 画材代
燃料費		
食糧費		
印刷製本費		
通信運搬費		
広告料		
保険料		
手数料・委託費	890,870	モニュメントライトアップ/点灯式 看板・照明・音響 輸送費 搬入～点灯式準備～最終日撤収トランポ等
使用料・賃借料		
原材料費		
備品購入費		
合計	956,085	

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。